

## 小川くにこのプロフィール

- 高津区久本在住。  
家族は夫小川栄一（元県議会議員）と、母。
- 都立小石川高校卒。早稲田大学第1文学部英米文学科卒。川崎稲門会常任幹事。
- 元YMCA 横浜予備校英語科講師。
- NPO 法人理事。（在宅介護）
- 平成11年4月県議会議員に初当選（以後5期連続当選）
- 県議会にて、第108代副議長、監査委員、競馬組合委員、総務政策常任委員長、建設常任委員長（女性初）、決算特別委員長（女性初）、県民企業常任委員会副委員長、厚生・文教・予算委員会委員などを歴任。
- 県青少年問題協議会委員、県開発審査会委員、県建築審査会委員などを歴任。
- 自民党神奈川県連副会長、女性議員局相談役 自民党川崎市連総務会長。
- 神奈川の地域医療を考える会幹事、川崎北部菊花会会長、高津区ゲートボール協会会長、高津親睦ソフトボールリーグ顧問、東橘校区スポーツ親睦会顧問、ママさんバレーせせらぎリーグ顧問、高津区少年野球連盟顧問
- 趣味／ウォーキング、読書、音楽鑑賞



政治は政策！

県会

小川くにこ

自民党

## 政治は政策！ 命を守る政策に全力 医療・福祉・子育て・教育

小川くにこは26年6月に県議会第108代副議長に就任。退任後は監査委員をはじめ、重要な職責を歴任してまいりました。

副議長就任と同時に始めた女性議員勉強会のテーマの一つ、新たな総合的女性の支援法制定の必要性を、党本部や政府に求め、DV対策や女性保護施設の充実を図っているところです。このように女性ならではの視点を活かした政策「医療・福祉・子育て・教育」に重点的にとり組み、幸せの基本要素「心身の健康を推進するために政策活動」を活発に展開しております。

2020年に開催されるオリンピック、パラリンピックを控え、更にグローバル教育が求められる中、神奈川県と姉妹州である米国メリーランド州との（公立私立ともに）生徒交流、教員交流を推進し、教育連携充実を提唱してきましたが、ようやく実現の時を迎えました。本県の子供たちのグローバル力が向上するようさらに努力してまいります。

県立高校改革においては、重ねてきた学校視察を活かして、高校生活が充実したものになるよう政策提言を続けてまいります。

そして、2人に一人が、り患すると言われているガン。命を守るために必要な医療情報や医療技術の提供、医科歯科連携や福祉との連携の懸け橋になるために、これまで以上の努力を重ねてまいります。

少子超高齢化時代に、新たな政策展開が求められる今、キャリアを生かしながら新たな役割を担ってまいりたいと決意しておりますので、引き続きご支援賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

### 政策実現

- ガン克服条例提案  
（平成20年4月施行、30年4月改正）  
ガンで苦しむ方々の支援を充実強化
- 議会基本条例提案（平成20年12月施行）  
議会・議員のあり方を再検討
- 歯・口腔の健康を推進する条例提案  
（平成23年7月施行、30年4月改正）オーラルフレールを全国で初めて定義し、医療との連携強化を明確化  
歯科行政を確立
- 指定管理者制度指針策定提案
- 県立高校改革において昼間定時制設置を実現。生徒の立場に立った改革を断行。
- 不登校、引きこもり、いじめ問題について初当選以来重点的な取り組みを継続。
- 違法広告、不適切な広告の規制を強化
- 教育無償化への提言（地域にあった施策展開）
- 県立高校改革に現場視察を踏まえた提言
- 私学助成金の拡充・学童補助の拡大  
姉妹州メリーランド州立大学との連携強化をはかり、英語教育の充実を推進  
などなど

命を守る！  
医療、福祉  
子育て、教育

## 小川くにこ事務所

高津区久本2-7-34 TEL:044-865-1313 FAX:044-888-3600

<http://www.kinet.or.jp/seseragi/>



# 政治は政策！ 命を守る政策に全力

## ゲリラ豪雨から地域を守る！

橘地区を流れる矢上川の氾濫を未然に防止する為に、河川の地下にトンネル状の遊水池を設置します。ゲリラ豪雨など大雨が降り、洪水の危険性が高まった場合、地下トンネルに河川から水を引き、雨量や河川の水量がおさまった後に、トンネルからポンプで水を河川に戻す。この大がかりな工事をポンプ場を設置する予定地の所有者の方々の協力を得て、久未地区に実現します。工事完成は平成37年、総工事費は約350億円の予定。工事区域周辺の整備にも取り組みます。



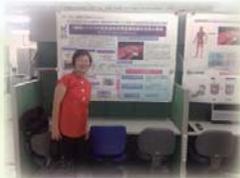
▲有馬川 流入施設イメージ図 (久未のポンプ設置施設)



▲副議長として



▲高校総合文化祭にて



▲先端的研究を支援

## 急傾斜地工事

高津区内には、ガケ崩れの危険性が高い箇所が多数あります。大雨や地震によって思いもかけぬ土砂崩れもおきます。女性初の神奈川県議会建設常任委員長のキャリアを踏まえ、住民にとって危険な急傾斜地のガケ崩れを未然に防ぐ為に努力をしています。



▲地域の安全を守る



▲みこし仲間と



▲ソフトボール仲間と



▲溝口社にて



▲川崎市の予算要望を県に

## 駅前交番の改善

駅前交番の存在を明確にするために、屋根に表示看板を、デッキ上に夜もよく見える案内看板を設置し、地上からも交番をたずねやすくするよう、横断歩道を交番前に設置しました。地域のみなさんから2万人にも及び署名を頂き、県警本部に小川くにこが陳情して改善したものです。



▲市町村からの要望



▲予防ワクチン研究会



▲議会基本条例をプレゼン

## 横断歩道

必要な場所に横断歩道を！久本メイフェアパーク出入り口前に設置。道路拡幅工事が行われる時には、信号の移設を目指します。

